

発行

薩摩川内市
〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3-22
☎ 0996(23)5111 ☎ 0996(20)5570
☎ 0996(22)8115 (直通)

※音声案内後に内線番号を押してください。

閉庁日および時間外 ☎ 0996(23)5115

編集

本庁未来政策部秘書広報課
☎ koho@city.satsumasendai.lg.jp

各支所など

- 樋脇支所 〒895-1292 樋脇町塔之原1173
☎ 0996(37)3111 ☎ 0996(37)2252
入来支所 〒895-1492 入来町浦之名33
☎ 0996(44)3111 ☎ 0996(44)3117
東郷支所 〒895-1106 東郷町斧淵362
☎ 0996(42)1111 ☎ 0996(42)0767
...

広報電話

やくしよにコール
☎ 0120(894)256
※夜間救急当番医や水道サービスセンターの情報が電話で確認できます。

担当者の声

STAFF'S VOICE

平成5年に土砂崩れや河川の氾濫など、鹿児島市を中心に甚大な災害が発生した8.6豪雨。私は、その日、天文館でのアルバイトを終えて、家に帰ろうとバスを待っていました。しかし、いつまで経ってもバスは来ません。そのうち側溝から水があふれ出し、電車通りがみるみるうちに濁流にのまれて川となっていく様子をぼうぜんと立ちすくんで見つめていました。携帯電話の普及率が約3%の時代。得られる情報は、人からの口伝で、そのうち、あちこちから被災の状況が聞こえ始め、このまま家族に会えなくなってしまうのではないかと不安に押しつぶされそうになりました。あの日以来、天気予報が「雨」となるたびに、どのような行動をとったら災害被害を少しでも軽減できるのかを考えます。自然災害を前にすると無力さを感じますが、これからも平常時から「もしも」を想定して、「いざ」という時に自分と大切な人たちを守るように備えておこうと思います。(諏訪原)

◎今月の表紙

表紙写真で親子が座るベンチは、4月にオープンしたセンノオトにあり、「かまど」として使用可能で、蓄電池式街路灯は、独立電源システムとして機能し、スマートフォンなどを充電することができます、いずれも災害時に活用できるものです。

今月の広報薩摩川内は、「防災」をテーマにしました。市誕生20周年を迎え、まちの賑わいや人々の笑顔をこれからも紡いでいくために日頃から防災意識を高めましょう。家族や地域で避難所や連絡先などを確認しておくことが大切ですので、そのきっかけになればと思います。



▲災害時にかまどとして使える防災ベンチ

<目次>

- P 2 キジカケル突撃レポート！
P 4 人のとなりに
P 5 7月は国民年金保険料免除・納付猶予申請の更新月です
P 6 生涯学習「まちづくり出前講座」を活用してみませんか
P 8 令和6年7月から重度心身障害者医療費助成制度が一部変わります！
P 9 深ボリ！企業のチカラ
P 10 令和4年度決算に基づく本市の財務書類を作成しました
P 14 ゼロカーボンシティを目指して
P 15 私のFood記
P 16 まちの話題
P 17 情報掲示板
P 20 うぶごえ・おくやみ
P 22 読者のひろば

広報紙アプリ「マチイロ」
スマートフォンやタブレットで「広報薩摩川内」や「薩摩川内市議会だより」を読むことができます！ダウンロードしてぜひご利用ください。
Android版 iOS版
問合せ先／本庁未来政策部秘書広報課(内線 4122)

読者のひろば

ある春の日のこと
鳥のさえずりが新緑に映える山奥での1コマ。
夫が庭を歩きながら目で見て耳で聞いて楽しんでたある日のこと。「珍しい鳴き方の鳥だけ何だろう」と耳を澄ませると、遠くから「ピーポーピーポー」と音がだんだん大きくなって、救急車が高速を走る音だと気付きました。
搬送されていた方の無事を願いながら、ふと夫の耳は大丈夫だろうかと思ふことでした。
うーさん(59歳)

奇跡のヒマワリ
畑の草取りをしていたら、ヒマワリが1本だけ生えていました。寒い中、こぼれ種が2センチメートルほどに育っていました。踏みつけたらいけないと思いプランターに移したら元気よく育っています。
4年前に頂いてから、年々きれいなビタミカラーのヒマワリに育ち、真夏から寒い11月まで咲いてパワーを頂いています。今年は毎月種まきをして楽しみたいと思います。
えみちゃん(64歳)

「あっ、あった」
川内の食べ物で大好きな「たまごむっかん」を川内駅で見発見。
去年、37歳になって軽度知的障害があることが分かった。B型就労支援施設と出会い、15、16年ぶりに家族や近所の人以外と触れ合い、毎日外に出る機会に恵まれた。半年以上かかって職員さん以外の方と会話ができるようになり、お互い食べ物を交換するようになって、私は「たまごむっかん」をプレゼントしたのだった。心の扉が開いた瞬間「たまごむっかん」のおいしさを広めたいと思った。
きてい・ほわいと(38歳)

第2の故郷に
結婚を機に大好きだった仕事を辞め、4月に愛知から引っ越してきました。ただ夫の帰りを待つだけの日々は孤独との戦いです。しかし、どんな時にも優しく包み込んでくれる自然。そして、温かい薩摩川内市の人々。生まれ育った愛知を離れ、縁もゆかりもない土地で暮らす私の心を支えてくれています。これからもっとと薩摩川内市の魅力に触れ、第2の故郷にしていきたいと思います。
かすみ草(25歳)

投稿・問合せ先／本庁秘書広報課企画総務・広聴広報G(内線4122)
☎ koho@city.satsumasendai.lg.jp

ある春の日のこと

奇跡のヒマワリ

「あっ、あった」

第2の故郷に

今月のプレゼント
掲載店募集中!! 秘書広報課までご連絡ください。
【締切】6月26日(水)消印有効
ensoku 米粉菓子屋 (外観) シルクスムースチーズケーキ
上記締め切りまでにお便りを頂いた方の中から抽選で、ensoku 米粉菓子屋の1,000円分の焼き菓子ギフトバッグを3人にプレゼント。
完全無農薬、無化学肥料の玄米粉や米粉を使用した焼き菓子屋として、今年4月にオープンしたばかりのお店。フィナンシェやマドレーヌなどの焼き菓子に加え、タルトやスコーンまでさまざまな種類のお菓子を楽しむことができます。また、シルクのように滑らかな食感のシルクスムースチーズケーキは予約限定の商品。米粉を使った多彩なお菓子をぜひご賞味ください。
ensoku 米粉菓子屋
住所 入来町副田 5955-87
営業日 11:00 ~ 16:00
営業日/金、土曜日
※営業日は変動する場合があります。Instagramをご確認の上、ご来店ください。
Instagram